

文化の力で町を元気に

町文化会館の指定管理に係る協定書調印式

町は12月16日、益城文化会館管理運営共同企業体と町文化会館の管理・運営に関する協定を結びました。

同企業体は、平成27年4月から指定管理者として町文化会館の管理・運営を担っており、今回で2期目となります。

代表構成員である九州総合サービス(株)の尾池千佳子代表取締役は、「文化の力で町を元気にし、行政サービスの代行者として、住み続けたいと思うわくわくするまちづくりに協力したい」と話しました。



左から熊本朝日放送(株)細谷英宣プロフィットセンター長、尾池代表取締役、西村町長、(株)パブリックビジネスジャパン秋原宣代表取締役



協定書を掲げる(株)ジェイコム九州の上村忠代表取締役社長と西村町長

幅広い支援で災害に備える

(株)ジェイコム九州と災害協定を締結

町は12月19日、株式会社ジェイコム九州と災害時における人員、車両等の提供に関する協定を結びました。

同社とは、平成25年に災害時における放送要請に関する協定を結んでおり、熊本地震以降毎年4月に放送されている特別番組には、町民や町職員も出演しています。

今回の協定により、災害時には同社の放送設備を使った情報発信に加え、同社が備蓄する物資や物資運搬用車両の提供を受けることも可能となり、幅広い被災者支援につながります。

地震も乗り越えた長年の活動を表彰

自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰伝達式

役場仮設庁舎で12月23日、令和4年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰伝達式が行われました。

これは、自治会などの代表として多年にわたり良好な地域社会の維持、形成に努めた人を、総務大臣が表彰するもの。表彰を受けた豊永峯二辻団地区長と江森勝喜安永2町内区長に、西村町長から表彰状が手渡されました。

両区長声をそろえ、「熊本地震時はとても大変だったが、地域の皆さんの協力で乗り越えることができ、表彰を受けることができました」と感謝の言葉を述べました。



表彰状を手にする豊永区長(左)と江森区長(右)

Pickup Plus+
 今月のプラス



上陳の冬水田んぼ

毎年11月から翌年3月まで、約16ヘクタールの田んぼに水を張ることで、約170万トンの地下水を蓄える「冬水田んぼ事業」。多くの田んぼ地権者や行政区嘱託員の協力の下、サントリーホールディングス(株)、(公財)くまもと地下水財団、町土地改良区が共同で行うこの事業は、平成22年から毎年行われ、今回で13年目を迎えます。